(連 載)目からウロコがぽろぽろ落ちる

はじめてのBtoBマーケティング

*92® 未知への挑戦を 成功させる

この連載ではBtoB分野のマーケティングを「目からウロコが落ちたように」くっきりスッキリと理解していただき、今すぐ使える手法と発想をお届けします。

年始号では、「91.失敗と成功の価値」と題して、失 敗を糧として成功を掴む発想をお届けしました。今回 は、失敗の原因と、克服のコツをお伝えします。

事故などの原因を究明し、重大な事故や失敗を未然に防ぐ学問に、失敗工学・失敗学があります。失敗学に関しては、さまざまな書籍があるので、失敗学についての説明は省略いたします。ここで、お伝えしたいポイントは、自分事として「失敗からどうやって糧を得るか」です。

●失敗を投資と考える

何かを得るには、対価を支払います。「失敗」も成功を得るための対価となれば、その失敗は投資です。 投資とは、財を増やすためのお金の使い方です。もしも、1万円札が5,000円で買えたと想像してみてください。借入してでも、1万円札を買いたいと思いませんか。 対して、財が減るお金の使い方をコストと言います。

失敗が投資ならば、積極的に。コストならば、徹底 的にカットすべきです。そして、失敗を投資にするた めには、「何が何でも、この失敗から糧をつかみ取って やる」という強い思いが大切です。

●投資にするための3つの視点

失敗学では失敗の要因を10の分類で定義づけています。ですが、本稿では、自分自身の財産にするために、3つの視点に絞ってご説明します。組織的な問題というような、自分事化できない「他人事的な要因」はあえて省いていますので、ご了解ください。

3つの視点とは、「未知」「無知」「無能」です。

未知とは、まだ知らないこと、知られていない事。 無知とは、必要な知識と知恵が無い事。 無能とは、必要な能力や技術が無い事。

●未知と思考力

ここからは、全て自分事に落とし込んで読んでくだ さい。まず未知について。

まだ知らない事を、未知と言います。未知は、過去の経験や知識だけでは見通すことができません。1世紀以上も前の天文学者は「なぜ夜は暗いのか?」に疑問を持ち考えました。この問いに答える概念は当時に



は存在しません。しかし、彼は考えた末に一つの答えを出しました。「宇宙は光よりも、はやい速度で膨張している」。1920年代になって宇宙の膨張はようやく発見され、2000年代になって証明されました。

人類は、知らない事を切り拓いてきました。知らないことを切り拓くのは、思考力=考える力です。考える力は、なぜ?と思う事と、豊かな想像力と論理性、そしてスパークで構成されています。知識に頼ると、なぜ?と思う事や、妄想ともいえるほどの自由な想像が抑制されます。

この抑制から解放されて、思考力を高めるためには、「バカになる事」が大切です。服を着替えるように、知識を脱ぐ、経験則を脱ぐ、という感じです。私たちはTPOに応じて、服を自由に着替えます。未知に挑戦する時には、服を脱いでみようと思うだけで、思考力が高まります。

●無知を恥じない

無知は、必要な事を知らない事です。新しいことに 挑戦すると、無知と遭遇します。肝心なのは、その時 に素直に知ろうとするか、自分が知っている知識で抗 うかの違いです。知識に溺れると、新しい概念や知識 に否定的・攻撃的になる事があります。

私には知らない事がある、と認めると挑戦に必要な知識を補充することが容易になります。生兵法は大怪我の基。中途半端な知識に頼ると、挑戦は大失敗に陥ることがあります。必要な事を知らないかもしれない、と受け入れることが無知からの脱出です。

無知を恥ずかしい事だと思い込んでしまうと、必要 な知識が頭に入らなくなります。ベテランであっても、 優秀な頭脳の持ち主であっても、知らない事があるの は当たり前のことです。

●もっとも厄介なのは無能

挑戦を失敗に陥れるもっとも厄介なことは、無能で す。普段の仕事では、十分な能力が発揮できていても、 新しい何かに挑戦する時に、必要となる能力は十分だ ろうか、と考えてみてください。

能力とは、基準と手順をある時間内に全うできる事 です。挑戦を成功させるための基準は何だろうか、最 適な手順は何だろうか、と考えることは「未知に対し ての思考力」です。思考の結果、必要となる基準と手 順という「能力目標」が決まったときに、実践できる ように自らを改善できるかどうか。これが、無能か有 能かの分かれ目です。

無能から脱出するためには、自分で自分に期待する ことが大切です。真の無能とは、自分で自分に過剰に 期待する、あるいは期待できずに、自分を育成できな い事です。自分に、適度に期待する。そして、自分に 対するネグレクトにならない事が大切です。

–歩目を出す

一歩目を出す者だけが歩き始めます。無知や無能に 束縛されず、楽に歩くと、長く歩き続けることができ ます。長く歩いた者は、遠くまで行くことができる。 挑戦も同じです。失敗を恐れず、一歩目を踏み出そう と思ったときが成功のはじまり。2022年の立春は2月 4日。古い服を脱いで、未知なる春への一歩を踏み出 してみましょう。



著者・中井 淳夫(なかい あつお)

株式会社 創英 代表取締役 NHNホールディングス株式会社 代表取締役 BtoBマーケティングを専門にしており、昨年開催し たセミナーの受講者は700名以上。受講者の96% が満足し、企業規模にかかわらず活用できる内容と 高く評価されている。一般社団法人組織内コミュニ ケーション協会を創設し代表理事を務め、産学連携 で躍進企業の社内マーケティングを研究してきた。 著書「誤努力」が、流通科学大学、神戸芸術工科大 学のテキストとして採用された。 相談・問い合わせは、b2b@soway.co.jp







イレを使えば使うほど、キレイに



通常水の

洗浄溶液も バブルとの 組み合わせで 洗浄効果アップ

ポータブル



設置するだけ! 食味も向上!

食品洗浄



B マルヤマウルトラファインバブル Maruyama Ultra Fine Bubble

性能とコストパフォーマンスを両立した MUFB 製品群は、 産業・アグリ・飲食など、様々な分野での活用が進んでいます。

瞬時に高濃度な ウルトラファインバブル生成

PRO SPEC プロ仕様の"確かな品質"

お問合せ・資料請求は 右記まで

「日刊工業新聞の広告を見た」 とお伝えください

株式会社マインドシェア

〒108-0073 東京都港区三田 3-2-8 Net2 三田ビル info@ufb-m.com 語 03-6823-6211 平日 10:00 ウルトラファインバブル マインドシェア 🔾 回算



製品企画

NHNホールディングス株式会社 〒178-0063 東京都練馬区東大泉 7-15-27-307